



平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月5日

上場取引所 東

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社

コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 英助

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 吉村 巧

TEL 03-3822-5036

四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年10月期第2四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	35,139	15.2	3,257	28.8	3,830	19.8	2,445	10.3
25年10月期第2四半期	30,502	8.7	2,529	6.9	3,197	8.4	2,217	5.1

(注)包括利益 26年10月期第2四半期 3,530百万円 (△29.0%) 25年10月期第2四半期 4,969百万円 (104.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第2四半期	30.59	—
25年10月期第2四半期	27.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	72,906		51,589		66.8	
25年10月期	67,888		48,601		67.4	

(参考)自己資本 26年10月期第2四半期 48,672百万円 25年10月期 45,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	—	—	6.00	6.00
26年10月期	—	—	—	6.00	6.00
26年10月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	9.6	2,600	23.5	3,800	12.7	2,600	9.0	32.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年10月期2Q	86,977,709 株	25年10月期	86,977,709 株
26年10月期2Q	7,053,250 株	25年10月期	7,046,466 株
26年10月期2Q	79,926,588 株	25年10月期2Q	79,421,233 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の持ち直しや輸出環境の改善など、日本経済の景気回復基調は緩やかに続いているものの、消費税率引き上げの影響から今後の景気動向について慎重な見方も見られます。

農業に関しましては、政府が取りまとめた「農林水産業・地域の活力創造プラン」により、農政の改革プランが提示され、産業政策と地域政策を両輪とした4つの改革を柱として、農業の構造的な改革に向けた、課題解決のための取り組みが進められています。

このような情勢のもと、当グループは、持続的な成長と企業価値の向上を図ることを基本方針として、市場の深耕や開拓による売上、利益の継続的な増大を最重点に、国内・海外とも、顧客のニーズ・ウォンツに基づく販売戦略を策定し、その実践を図るとともに、自社開発剤を中心とした製品の更なる拡販に努めてまいりました。

当グループの第2四半期連結累計期間における売上高は351億3千9百万円、前年同期比46億3千7百万円(15.2%)の増となりました。損益面につきましては、売上高が増加したことなどにより、営業利益は32億5千7百万円、前年同期比7億2千8百万円(28.8%)の増、経常利益は38億3千万円、前年同期比6億3千3百万円(19.8%)の増、四半期純利益は24億4千5百万円、前年同期比2億2千8百万円(10.3%)の増となりました。

セグメントの概況につきましては以下の通りです。

セグメント	平成26年10月期 第2四半期		平成25年10月期 第2四半期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化学品	33,016	94.0	28,468	93.3	4,549	16.0
賃貸	114	0.3	111	0.4	2	2.2
その他	2,009	5.7	1,923	6.3	86	4.5
計	35,139	100.0	30,502	100.0	4,637	15.2

① 化学品セグメント

国内販売部門の農耕地分野では、水稲用除草剤「ピリミスルファン剤」が伸張し前年同期の実績を上回り、水稲用箱処理剤「イソチアニル剤」の更なる拡販を図り伸張しました。また、水稲用殺菌剤の「コラトップ剤」を今期から販売開始したことに加え、園芸用では、殺菌剤「ファンタジスタ剤」、殺虫剤「スプラサイド剤」とも前年実績を上回りました。さらに、非農耕地向け薬剤販売や受託加工も順調に推移しました。

海外販売部門におきましては、畑作用除草剤「ピロキサスルホン剤」の米国における大豆向け販売が伸張したことから前年同期を上回りました。加えて、直播水稲用除草剤「ノミニー」もインド向けの販売が回復し、フィリピン・インドネシア向けの販売が伸張したことから前年同期を上回りました。

上記の結果、化学品セグメントの売上高は330億1千6百万円、前年同期比45億4千9百万円(16.0%)の増、営業利益は33億9百万円、前年同期比7億7千2百万円(30.5%)の増となりました。

② 賃貸セグメント

賃貸セグメントの売上高は、前年同期に比べ、賃貸物件及び賃貸価格に大きな変動はなかったことから、1億1千4百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は2億9百万円)、前年同期比2百万円(2.2%)の増、営業利益は1億2千6百万円、前年同期比3百万円(2.4%)の減となりました。

③ その他

流通事業、印刷事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業及びメガソーラーによる売電収入などで構成されるその他は、昨年9月に完成したメガソーラー発電所の売電売上が寄与したことに加え、流通事業での物流取扱量の増加により売上は増加しました。一方、印刷事業では主要取引先への販売が低調に推移しました。その結果、全体の売上高は20億9百万円、前年同期比8千6百万円(4.5%)の増、営業利益は1億5千万円、前年同期比4百万円(2.4%)の減となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は729億6百万円で、前連結会計年度末に比べ50億1千8百万円の増となりました。これは主に受取手形及び売掛金並びに投資有価証券の増加が現金及び預金並びに商品及び製品の減少を上回ったことなどによるものです。

負債は213億1千7百万円で、前連結会計年度末に比べ20億2千9百万円の増となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加が短期借入金の減少を上回ったことなどによるものです。

純資産は515億8千9百万円、自己資本比率は66.8%、1株当たり純資産は608円97銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年10月期通期の連結業績予想は、平成25年10月期の決算発表時(平成25年12月18日)の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,003	4,317
受取手形及び売掛金	8,199	22,187
有価証券	1,351	1,261
商品及び製品	8,089	5,897
仕掛品	2,214	1,826
原材料及び貯蔵品	1,496	1,089
繰延税金資産	718	718
その他	1,398	732
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	34,466	38,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,852	3,760
機械装置及び運搬具(純額)	1,394	1,306
土地	6,324	6,326
建設仮勘定	—	290
その他(純額)	614	584
有形固定資産合計	12,184	12,266
無形固定資産		
	255	243
投資その他の資産		
投資有価証券	20,067	21,517
繰延税金資産	93	88
その他	824	768
投資その他の資産合計	20,984	22,373
固定資産合計	33,423	34,882
資産合計	67,888	72,906

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,297	9,526
短期借入金	2,200	1,400
未払金	1,510	1,019
未払法人税等	337	1,213
賞与引当金	570	464
その他	519	634
流動負債合計	12,432	14,257
固定負債		
長期借入金	1,700	1,600
繰延税金負債	2,769	3,088
退職給付引当金	1,658	1,637
役員退職慰労引当金	357	388
資産除去債務	35	35
その他	336	312
固定負債合計	6,855	7,060
負債合計	19,287	21,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	5,033	5,033
利益剰余金	33,641	35,604
自己株式	△1,451	△1,455
株主資本合計	41,757	43,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,771	5,338
為替換算調整勘定	△745	△382
その他の包括利益累計額合計	4,026	4,956
少数株主持分	2,818	2,918
純資産合計	48,601	51,589
負債純資産合計	67,888	72,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
売上高	30,502	35,139
売上原価	23,305	27,059
売上総利益	7,196	8,081
販売費及び一般管理費	4,668	4,823
営業利益	2,529	3,257
営業外収益		
受取利息	44	45
受取配当金	131	142
持分法による投資利益	446	319
為替差益	53	34
その他	44	85
営業外収益合計	718	625
営業外費用		
支払利息	4	5
売上割引	29	31
その他	17	16
営業外費用合計	50	52
経常利益	3,197	3,830
特別利益		
投資有価証券売却益	264	10
企業結合における交換利益	80	—
特別利益合計	344	10
特別損失		
固定資産処分損	10	11
災害による損失	—	2
特別損失合計	10	12
税金等調整前四半期純利益	3,531	3,828
法人税等	1,187	1,253
少数株主損益調整前四半期純利益	2,343	2,575
少数株主利益	127	131
四半期純利益	2,217	2,445

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,343	2,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,536	584
為替換算調整勘定	218	30
持分法適用会社に対する持分相当額	△128	340
その他の包括利益合計	2,625	955
四半期包括利益	4,969	3,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,674	3,364
少数株主に係る四半期包括利益	295	166

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	28,468	111	28,579	1,923	30,502	—	30,502
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	94	94	791	885	△885	—
計	28,468	205	28,673	2,714	31,387	△885	30,502
セグメント利益	2,536	130	2,666	153	2,819	△291	2,529

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△291百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	33,016	114	33,130	2,009	35,139	—	35,139
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	95	95	783	879	△879	—
計	33,016	209	33,226	2,792	36,018	△879	35,139
セグメント利益	3,309	126	3,435	150	3,585	△328	3,257

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△328百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。